

楽しく学び つながり 活かす 生涯学習



教育

はむらの



▲HAMURAメリーリボン演劇祭出演メンバー



▲初心者講座作品「手作り絵本」

【特集】 学習成果の積極的な活用

『学んだ成果を市民・団体・

地域社会へつなげます』（2～3ページ）

【特集】『学んだ成果を市民・団体・地域社会へつなげます』

ゆとりぎ講座から生まれた キラキラし続けるシニアたち

平成29年7月21日・22日に開催した「第2回HAMURAメリーリボン演劇祭」で多くの若者の中でひとときキラキラしたシニアたち「演劇集団 銀のすず2号」がいました。舞台いっぱいにと歌ったり、踊ったり、シニアの彼女たちしかできない題材…高齢者による清掃員を自らクリンクルと呼び、そこでの出来事、笑いがあったり、ほっこりしたり…生き生きと演じる姿はとも60代・70代には見えませんでした。

「演劇集団 銀のすず2号」は、平成26年度ゆとりぎ芸術鑑賞事業「60歳からの演劇講座」セカンドデビューの受講者です。アクティブシニアを対象にした演劇の講座が開催され、最終日に小ホールで発表を行いました。

この興奮と充実感が忘れられず、講座終了後、受講者から「続けたい！」との声が上がリ、講師の塩田真紀子さんに指導を依頼し、「演劇集団 銀のすず2号」を結成しました。

現在は、自主公演をはじめ、ボランテアで保育園や幼稚園、老人保健施設などでの公演のほか、羽村市の文化祭や「HAMURAメリーリボン演劇祭」に出演するなど、幅広く活動を行っています。



▲第2回HAMURAメリーリボン演劇祭の様子「演劇集団 銀のすず2号」

【問合せ】生涯学習センターゆとりぎ ☎570-0707

インタビュー

「演劇集団 銀のすず2号」の大野英子さんに伺いました。

■演劇講座に応募したきっかけは

62歳の時に病気をし、どん底で落ち込んでいた65歳の時にこの講座を知り、「一度死んだ人生、まさしく、セカンドデビューだ」と思い応募しました。

■初めて立った舞台の感想を

「無我夢中で何も覚えていない」と笑う大野さん。「でも、ただ、『また、やりたい』『もっと向上したい』『本格的にやりたい！』と強く思いました」と真剣なまなざし。

■観客・家族・友人の反応は

落ち込んでいた時を知っている人からは、「本当に元気になってよかったね」と言われました。また、「パワーをもらった」「自分も元気になった」とよく言われます。

■演じることは

「（イコール）自分「生きがい！」「それが無いといられない」と元気に笑う大野さん。

■今後について

「今まで演じたことのない役…『悪女』とかに挑戦したい」と楽しそうに語っていました。

今後も保育園や幼稚園での公演、HAMURAメリーリボン演劇祭と大忙しの大野さん。「劇団員を増やしたいので少しでも興味ある人は練習を見に来てください」と熱く語ってくれました。



▲「演劇集団 銀のすず2号」の大野英子さん

この「演劇集団 銀のすず2号」は、講座を受講し、サークルを結成しました。そして、公演・発表することでそれを観た方が何かを感じるができます。

演劇を通じて自己表現をする楽しさを知り、生活に潤いを実感し、創造活動を通じて新たな人とつながり、地域の活動に参加することでイキイキとした生活へ、そして、それを観た人が自分も！と思う。

まさに、循環型の生涯学習が結んだ地域の輪といえるのではないのでしょうか。

キラキラした彼女たちを見て、チャレンジに年齢は関係ないと感じた人は多いことでしょう。

桜咲くこの春！皆さんも「ゆとりぎ」で新たなことにチャレンジしてみませんか？

初心者講座「手作り絵本とポップアップカード作り」を通じた仲間づくり

市では、多くの市民の皆さんに生涯学習活動へ参加していただけるよう、様々な講座を企画しています。平成29年11・12月に開催した、初心者講座「手作り絵本とポップアップカード作り」では、日曜日に開催したこともあり、子育て世代の方や、お孫さんのためにオリジナルの絵本をプレゼントしたいとの思いで参加された方など、幅広い年代の方々に多数ご参加いただきました。

講座では、お子さんも一緒に参加されていたこともあり、皆さんが和気あいあいとした雰囲気の中、楽しみながら作品を作られていました。



▶皆さんの作品

「絵本」作りでは「秋」をテーマにした立体的な絵が飛び出す仕掛のある絵本を、「ポップアップカード」作りではクリスマスをイメージした作品をそれぞれ作り、作品発表の際には、一人ひとりの作品が披露されるたびに歓声があがるなど、活気にあふれた有意義な時間となりました。



▲講座風景

講座終了後、参加者の中から、これからも「絵本」や「ポップアップカード」作りを続けたいとの声があつたことから、現在、継続を希望される皆さんが集まり、サークル化に向け、打合せを重ねています。

今後も、市民の皆さんの学習ニーズを的確に捉え、様々なジャンルで初心者向けの講座を企画していきます。講座をきっかけに出会った皆さんがつながり、いずれは地域活動やボランティア活動の一環として、新たに学びを求める市民の皆さんや団体、地域社会に向けて学んだ成果を還元できるよう、様々な形で支援していきます。

【問合せ】生涯学習総務課生涯学習推進係（内線363）

郷土学習のスペシャリスト集団 郷土博物館登録郷土研究員

○登録郷土研究員制度とは

羽村市郷土博物館は自然・風土・歴史・文化といった、郷土羽村に関することを広く扱いますが、郷土博物館だけでは力が足りないため、外部に人材を求めてネットワークを構築し、助けていただくことが必要となります。

そこで、平成23年度から、こうした外部の専門家をお願いし、郷土博物館の研究員として17名の方々に活躍していただいています。

○登録郷土研究員はどんな人

現役の大学の先生や、日本を代表する自然保護団体の理事経験者など、自然科学分野から文化系分野まで、歴史学・民俗学・文学・地学・地理学など、それぞれ専門分野で第一線に立つ方々がメンバーになっています。

○生涯学習のリーダーです

登録郷土研究員は、各分野の研究を進めていくとともに、展示や講座、学習会、観察会などを通じて、市民の皆さんの生涯学習活動を支援・指導していく役割も担っています。研究成果は、年1回発行している郷土博物館紀要に掲載しています。

興味を持った分野の学習方法や入門書、目を通しておくべき基本的な文献など、わからないことは、郷土博物館へおたずねください。登録郷土研究員のネットワークを通じて情報を収集し、館のほうから、あるいは研究員から直接お答えいたします。

【問合せ】郷土博物館 ☎5558-2561

紹介します！小中一貫教育の取組み つなごう∞育てよう∞いっしょに

小中一貫教育9年間の取組みを柱に、2学期制の良さを活かし、小・中学校が連携し、羽村の教育を充実していきます

平成30年4月から中学校は、これまでの2学期制の良さを活かした『新たな3学期制』へ移行します。

今後も小中一貫教育9年間の取組みを柱に、小・中学校が共に連携し、特色ある教育活動の実践をとおして、羽村の教育を充実していきます。

羽村市におけるこれからの学期制について、前回に続いてお知らせします。今回は、今後の取組みについてです。

小学校では、2学期制を継続することにより、今までどおり長い評価期間の中でじっくり児童を育成します。

中学校では、3学期制へ移行することにより、短い評価期間の中で、学校からの評価とともに、自分の学習や生活を振り返らせることで、生徒の成長へとつなげていきます。

また、今後は新しい学習指導要領への対応をはじめ、授業改善をさらに進めていきます。



【問合せ】 学校教育課指導係（内線376）

【小学校】 ～2学期制を継続～

2学期制の長い期間の中で、学校行事や体験活動、地域行事、小中連携事業をとおして、児童をじっくり育てていきます。

- ◆長い評価期間の中で、きめ細やかな指導により、じっくり児童の成長を育てていきます。
- ◆学校行事や体験活動、地域行事、小中連携事業をとおして、児童の「生きる力」を育てていきます。
- ◆中学校への円滑な接続のため、小中一貫教育を充実し、中学校との交流を図ります。

【中学校】 ～3学期制へ移行～

学期ごとに年3回評価を行うとともに、夏休み・冬休み前に面談を行い、学習成果と課題について生徒に考えさせるとともに、様々な活動をとおして生徒の成長や将来へとつなげていきます。

- ◆通知表、面談により、学習の成果を振り返り、課題に対して克服する力を養います。
- ◆長期休業日（夏休み・冬休み）の補充教室や家庭学習の充実を図ります。
- ◆キャリア教育（職場体験など）により、生徒の将来へとつなげていきます。

【今後】

新しい学習指導要領への対応、『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業づくりなどの準備を進めます。

- ◆児童・生徒が、自ら考え自ら判断する主体的な態度や能力の育成を目指します。
- ◆小学校での外国語（英語）の教科化を他地区に先行して実施し、英語教育のさらなる充実を図ります。
- ◆日々の学習指導、授業改善、家庭学習の充実を図り、基礎学力の向上に努めます。

「夢・未来プロジェクト」
 ～羽村市のオリンピック・パラリンピック教育の取組みについて～

「夢・未来プロジェクト」とは、オリンピック・パラリンピックなどのアスリートたちとの直接交流により、児童・生徒がオリンピック・パラリンピックの素晴らしさを実感するとともに、スポーツへの関心を高め、夢に向かって努力したり困難を克服したりしようとする意欲を養うプロジェクトです。
 「自分にチャレンジプログラム」として児童・生徒たちが体験した一部をご紹介します。

羽村西小学校ではパラ陸上競技、富士見小学校・小作台小学校では車椅子バスケットボールをそれぞれ体験し、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会への関心が高まりました。

「自分にチャレンジプログラム」

羽村西小学校 平成 29 年 12 月 8 日
 選手：鈴木 徹 さん
 シドニー・アテネ・北京・ロンドン・リオ／走り高跳び



富士見小学校 平成 29 年 9 月 28 日
 選手：宮島 徹也 さん
 北京・ロンドン・リオ／男子車椅子バスケットボール

小作台小学校 平成 29 年 12 月 14 日
 選手：上村 知佳 さん
 ソウル・バルセロナ・アトランタ・アテネ・シドニー（銅）／女子車椅子バスケットボール



【問合せ】 学校教育課指導係（内線 376）

平成29年度の学力調査(国・都)の結果をお知らせします

■全国調査結果概要*1

【対象：小6・中3】 (平均正答率) (%)

学校	教科	羽村市	全国
小学校	国語A	70	74.8
	国語B	54	57.5
	算数A	76	78.6
	算数B	42	45.9
中学校	国語A	76	77.4
	国語B	71	72.2
	数学A	62	64.6
	数学B	47	48.1

※全国のみ小数点以下の数値が公表されています。
 A問題は、主として「知識」に関する問題を中心とした出題
 B問題は、主として「活用」に関する問題を中心とした出題

*1「全国学力・学習状況調査」(平成29年4月18日)

■東京都調査結果概要*2

【対象：小5・中2】 (平均正答率) (%)

学校	教科	羽村市	東京都
小学校	国語	62.2	67.8
	社会	67.3	71.1
	算数	56.5	61.4
	理科	71.5	71.6
中学校	国語	71.1	72.7
	社会	55.5	56.5
	数学	51.5	54.2
	理科	53.9	56.5
	英語	61.8	62.9

*2「児童・生徒の学力向上を図るための調査」(平成29年7月6日)

羽村市の小・中学校では、全国や東京都の平均正答率に届いていない結果となっています。また、各教科の解答を分析すると小・中学校ともに、基礎的・基本的な学習内容へのつまづきが見られます。

このことを改善するために、学習内容の繰り返し学習を各学校で徹底するなど、基礎・基本的な定着を図る指導の充実をさせます。また、併せて思考力、判断力、表現力などを育成するために問題解決的な学習を充実させるべく、授業改善や研修を推進していきます。

【問合せ】 学校教育課指導係（内線 376）

第20回 羽村市地域教育シンポジウムを開催しました！

小学生・中学生・大人がテーマに沿って意見交換する地域教育シンポジウムを1月20日(土)に生涯学習センターゆとろぎで開催し、201人(小・中学生77人・大人124人)の参加がありました。

今回は「^{エイファイ}Aーとわたしたちの未来〜想像しよう 人工知能でどう変わる?」をテーマに、小・中学生や大人が意見を交換し合いました。

シンポジウムは2部構成で、第1部では羽村第一中学校と都立羽村高等学校の演劇部、羽村第二中学校演劇部および実行委員有志の合同によるテーマに沿った寸劇を鑑賞し、テーマに対する理解を深めました。

第2部では、小学生と中学生に分かれてグループ討議を行い、その後、全体会として、各グループの意見を発表し、参加者全員で「Aーとわたしたちの未来」について自由に意見交換をしました。

参加した小・中学生の皆さんには、シンポジウムで話し合ったことや参加して感じたことについて、改めて家族や友達と話し合い、更に理解を深め、自分達の今後に活かしてもらいたいと思います。

【問合せ】生涯学習総務課

生涯学習推進係 (内線363)



▲第2部グループ討議の様子

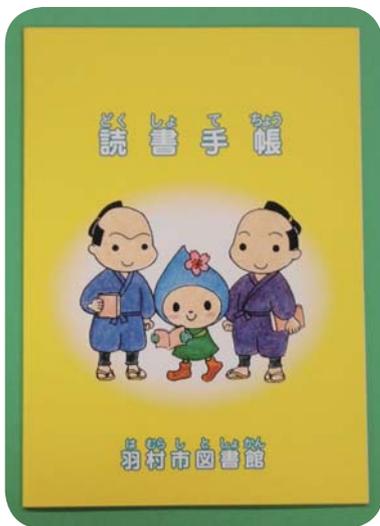
「参加した小・中学生の感想」

- ・Aーを身近に感じ、未来のことをもっと考えようと思いました。
- ・いろいろな意見が出て良かったです。
- ・難しい話題だからこそ、話し合うことで知識を深めることができました。
- ・大人の意見も聞くことができ良かったです。

4月23日は「子ども読書の日」です

「子ども読書の日」は、子どもたちにもっと本に親しんでもらいたいという思いから制定されました。この機会に、たくさんの本を読んでもみましょう。

また、市図書館では読書手帳を配布しています。読書手帳は、自分が読んだ本の記録を残すことができる手帳です。借りた本の記録をシールに印刷したり、直接書き込んだりして記録できます。学校図書館で借りた本や、自分で買った本も記録できます。読んだ本を読書手帳にぜひ記録してみてください。



市図書館では年に2回読書手帳の表彰を行っています。羽村市図書館の「読書手帳」「よむちよ」を使っている方で、本をたくさん読んでいる方を、羽村市教育委員会が表彰します。表彰も目指しつつ、多くの本に親しんでください。

【問合せ】図書館

☎554-2280

東京都教育委員会の表彰

東京都教育委員会表彰（健康づくり功労）

松林小学校学校歯科医 井上雄温さん
 学校歯科医として、永年にわたり、松林小学校児童などの健康を見守ってこられました。

一般社団法人

はむら総合型スポーツクラブはむすぽ

市では、体力・健康の促進に向けた様々な取り組みを行っています。

平成20年に設立された、はむら総合型スポーツクラブ「はむすぽ」は、地域住民が主体となって運営されているスポーツクラブです。スポーツ・レクリエーション活動を通して、誰もがいつでも「どこでも」「いつまでも」楽しく体を動かし、健康で豊かな「人づくり」「仲間づくり」「まちづくり」を目指しています。

平成30年度の主なプログラムを紹介し、ぜひご参加ください。

【主なプログラム】

- ① ジュニアチアダンス
- ② 西多摩ジュニア体操クラブ
- ③ ハワイアンフラ
- ④ 古武道健康教室
- ⑤ バレエストレッチ



※詳しくは「はむすぽ」の公式サイトをご覧ください。

【問合せ】 スポーツセンター ☎5555-0033

地域活躍シリーズ⑦

小・中学校PTA連合会の活動紹介

市内小・中学校PTA相互の連絡を密にし、会員の研修、親睦を図るとともに小・中学校教育の振興に寄与し、児童・生徒の健全育成に必要な活動に協力しています。



▲河川敷清掃・危険箇所看板設置活動

平成29年度は、はむら夏まつりの夜間パトロール、はむらふるさと祭りへの出演、市内一斉交通安全指導、青少年子どもフェスティバルのサポート、地域教育シンポジウムへの参加など、多くの地域活動に協力していただきました。

【問合せ】 生涯学習総務課総務係（内線353）



▲小作駅東口地区防犯パトロール

教育随想

新しい学習

「平成の『つき』って、何だとおもっ？」

先日ふと耳にした、下校中の男子小学生の会話です。天皇の退位などに関する社会の動きを知り、小学生なりに考えている姿が、少し頼もしく感じました。

羽村市の中学校は、4月から『新たな3学期制』へ移行します。2年後に迫った新しい学習指導要領や、東京2020オリンピック・パラリンピック教育などからも、良い伝統を引き継ぎつつ、時代に合わせた新しい教育が始まる予感がします。

これは学校教育だけでなく、修学を終えた若者やシニア世代にもいえることです。第五次羽村市長期総合計画の4つある基本目標のうち一つは『生涯を通じて学び育つまち』とあり、生涯学習の推進を掲げています。社会に出るまでの土台となる学習があつての『生涯学習』だと思えますが、大人になってから自分で選び取る学習は、その人の人生を豊かにし活力になるものだと思います。

3月は卒業の季節ですが、新しい学習を始めるのは本人がやる気になれば、いつからでもスタートできると思います。自分の能力を伸ばしたい人、新しい学びを始めたい人、改めて学び直したい人など、そういう希望をもった子どもや大人たちが輝くために、私に少しでもお手伝いができたら嬉しいことです。そして、平成の『つき』の新元号について話していた小学生たちの、これからの学びの成果が楽しみでもあります。



教育委員会委員

塩田 真紀子

特定非営利活動法人羽村市体育協会および羽村市文化協会は、市や教育委員会と協働して、市のスポーツや文化を推進していくための団体です。

特定非営利活動法人

羽村市体育協会

TEL 555-11698

第49回羽村市総合体育大会総合開会式

第71回都民体育大会羽村市結団式

〔日時〕 4月14日(土) 午後7時～

〔場所〕 スポーツセンター第1ホール

〔内容〕 優勝杯返還、選手宣誓、デモンストレーションなど

※見学は自由です。(上履きを持参してください)

羽村市総合体育大会は、陸上や柔道、ソフトテニスなど24種目の競技で羽村市のナンバーワンを競い合います。

都民体育大会では、羽村市の代表が、他の区市町村の代表と東京都ナンバーワンを目指して競い合います。



羽村市文化協会

TEL 090-5510-0191

日頃より文化協会活動にご協力ご支援ありがとうございます。昨年の文化祭では特別企画「北杜市文化交流事業」ゆとりぎオペラ「椿姫」を公演しました。

プロのソリストと羽村の市民合唱団が一体となり、素晴らしい舞台を創り、お客様から会場一杯の拍手をいただき、出演者と市民が感動を分かち合うことができました。

■平成29年度 文化協会活動実績

○第12回美術・工芸展

絵画、書道・篆刻、写真、陶芸など

○北杜市文化交流事業

○ゆとりぎサロンコンサート(年6回)

オペラ歌手岩崎由美恵さん、マンドリン、ファゴット、ウクレレ、サクソフォーン、詩吟、箏・尺八の演奏と書道吟

○第2回マジック＆フラダンス

マジックとフラダンスのコラボレーション

平成30年度もふれあいを大切に、体験教室などを開き、すそ野から羽村の芸術・文化振興と循環型生涯学習の推進を図ります。

●文化サークル体験教室

3月21日(水・祝) 男声合唱/グリーククラブ、新舞踊/松乃扇流

3月25日(日) 書道連盟、ニットサロン、手品サークル羽

●第68回サロンコンサート 4月14日(土) フォルクローレ

●第13回美術工芸展第1期 4月24日(火)～29日(日)

INFORMATION

羽村市役所 (代表) Tel 555-1111

生涯学習センターゆとりぎ	Tel 570-0707	羽村東小学校	Tel 554-5663	武蔵野小学校	Tel 555-6904
図書館	Tel 554-2280	羽村西小学校	Tel 554-2034	羽村第一中学校	Tel 554-2012
郷土博物館	Tel 558-2561	富士見小学校	Tel 554-6449	羽村第二中学校	Tel 554-2041
スポーツセンター	Tel 555-0033	栄小学校	Tel 554-2024	羽村第三中学校	Tel 555-5131
スイミングセンター	Tel 579-3210	松林小学校	Tel 554-7800	教育相談室	Tel 554-1223
弓道場	Tel 555-9255	小作台小学校	Tel 554-1431	適応指導教室	Tel 554-1331
				ハーモニースクールはむら	